
カラヌとの旅

かずてる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カラヌとの旅

【NZコード】

N1424M

【作者名】 かずてる

【あらすじ】

眺めていると吸い込まれていく。
飛行機雲、ふた筋。

生きにくい世界をしばし離れて、わたしはカラヌと旅する。

わたくしのあこせつ

上へ、上へと。

見上げた空はクリアで。
地上がひっくりかえって宇宙に向かって落ちてこくよづだね。
眺めていると吸い込まれていぐ。

飛行機雲、ふた筋。

いろんな足かせがあるだる。 地上にま。
生きて、死ぬ。

たつたそれだけの区切りの間に僕らはどれだけのきまつや、限界
にはさまれるんだろ？

そんな風に思つたんだと思う。小さじ頃。 それから、僕は人とは
異なる世界の切り取り方をするよくなつた。

文学だから、文学みたいな表現になつちやつてもつしわけない。

僕は生きることに、少し愚拙しがい、懶しがいと、寂しがいやがつと
感じている。

そんな僕の物語を、はじめます。

まずは、説明からだ。いろいろと説明しなきやいけない。名前と
が、どんな見た田の男なのか、とか。僕はいま、にが笑つた。だつ
て、ほんとうに苦手だし、僕の頭のなかにはありありと拡がつてゐ
る光景を言葉に置き換えるなんて作業がすゝし、「もつたいない」と思
つたりするんだ。

綺麗な宝石があるとする。僕はその美しさをせりとパーフェクトには言葉に置き換えないと思つ。

「もつたいない」よね。

僕というカメラを通してきみのなかに拡がるイメージが、ノイズやピンぼけ混じりだつたら、それは僕のせいだから。ごめんなさい。

僕はカラヌといいます。日本人じゃないし、ほかのビニの国の人でもない。

見た目は……わらわちやうよ。僕は、僕の見た目を説明しなきやいけないんだ。そうだな、半透明な目を持つていて、すぐく軽くて長いマントをはおつてゐる。

最初に云えておこつと思つんだけど、この物語には起承転結がない。期待しちゃうでしょ。でも、期待には沿えないんだから。何も起こらない。連續するイメージの素描だと考えていておいてほしい。

あらためて、こんなにちは。

ここは丘のてっぺんです。

ここは、僕にとつてなじみ深い、僕が一番僕らしくいられる場所。きみを連れてくることができ幸せです。

あしもとを見て。

緑の草がくるぶしの高さまで生えているでしょう。

そしてこの丘の全体を、そのふもとに拡がる平野を、いくつかの別の丘を、きみが見るすべての地上は緑一色なんだ。
傾いた太陽の光。濡れた草の表面が金色に光るね。
波の模様みたいに、風がざあっと緑の海を揺らすんだ。

なるべく沈黙してこるよ。

きみと僕で、じばりじばり立つてこよ。

ね、聞いてもいいかな。

あ、沈黙していられないのは、ほんとは本当にたくわん話したい
ことがあるからかもしない。

きみは生きてて楽しい？

僕は、正直あんまりつまべっていなによ。

いのやつて空想の翼をひろげていないと、せつと、すかすかにひ
からびて死んじゃつんじゃないかと思つ。

空想の翼に身を任せて世界を飛びまわる。その間だけ、自由で、
楽なんだ。

「じめん、ぼくは君の案内役だった。ぼくの愚痴を聞かせるのが、
ぼくの役目じゃない。」

でも、ひとつだけいのあこせつの最後に告白してもいいかな。

ぼくはつれしい。きみがいじにこじられて。ぼくは君とこねじわ
びしきない。ありがとつ。

さあ、こんな場所に行こう。

きみを楽しませたいんだ。いの世界のバリエーション、それをき
みに伝えたいんだ。

さあ、行こう。

言葉の滝

カラヌはわたしの手を握つて、田を開じた。
私も田を開じた。

さあ、着いたよ。でも、そのまま田を開じていて。ほら聞こえる
でしょ。

ああ、聞こえる。すこし音だな。

滝の音。じりじりと響きながら、空気は圧力を帶びて、頬や指先
に振動が伝わってくる。絶え間ない風が吹いている。

田を開けてみて。すこしよ。

ああ、何万本もの滝が空中に浮かび、轟音を立てながら底なしの
彼方に流れ落ちている。吹き付ける風は、滝が巻き上げた空気の渦
だった。

わたしたちは何もない場所に手をつないで立っている。

【執筆中】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1424m/>

カラヌとの旅

2011年1月16日09時31分発行